

## おいしく、にぎやかに！2020年(令和2年)新年会



新年あけましておめでとうございます—と、ご挨拶するにはいささか機を逸してしまいましたが、1月25日は我が「キビの会」恒例の新年会でした。小桁のトトロの家で行われた、一品持ち寄りの「トトロサロン」とも称する新年宴会。会員と当事者家族、ゲストの美作大生も加。和気あいあいに美味しい、ひと時を過ごしました。

川島和子理事長の「今年も頑張っていきましょう」の声で開会。テーブルには、寿司、おいなり、おこわ、豚汁、サンドイッチ、サラダ、果物など、会員それぞれのお手製の和、洋、中華風な家庭料理が並び、見るだけでもおいしそう。筆者は色とりどりのご馳走を見ただけで垂涎の境地になりました。

皆さんが「美味しいね」を繰り返し、食材やレシピを尋ねあったり、お代わりをしながら、よもやま話に花を咲かせました。

しゃべくりが進むほどに食欲も進んでいるよう、でしたが「食とお喋りの宴」も佳境を迎え、名残惜しくもお開きに。中には、食べたらない向きもあるようでしたが……

トトロの家は、皆さんが気楽に立ち寄り、それぞれが主人公となり生きがいを見出す、居場所です。今年も楽しい集いをたくさんしていきましょう。それから、新年に当たり、キビの会の目的の中の一文「…迷ったり、疲れたり、淋しかったりする人々も、いつか、きっと、生き生きと暮らすことのできる社会」を目指していきましょう。

皆さんが今年も幸せな一年でありますように……MY 拝



### お知らせ

- ※ 2月15日“みそつくり”終わりました、ご協力感謝です。
- ※かたくりの花を愛でる会(3月28日(土))は11時半から

### 餅つき大会をします



## 総社社協を訪ねて

晴天に恵まれた、去る2月5日、「ひきこもり」の状況やそのケアなどを学ぶため、福祉の先進市である総社市社会福祉協議会に、視察研修を実施しました。

美作大学の「ひきこもりゼミ」生と先生を加えた「きびの会」の精鋭18名が、何年ぶりの研修に、心地よい緊張感に包まれながら、津山を後にしました。

今回の研修を受け入れて頂いた、総社市社協の日下部さんを始め、家族会の坂本会長には大変お世話になり、参加者からの様々な質問にも丁寧に解説をして頂きました。

総社市社協における取組状況は、行政の強力なリーダーシップによるところが大きいと感じるとともに、最終的には、携わる人間の情熱と根気に支えられて成り立っていると、強く感じました。

その一つとして、取り組みの最初の段階で、地域ごとの懇談会を積み重ねて、住民の方々の理解と協力を得るよう、努力されたということが、大変印象的であり、参考になると感じた次第です。

家族会自体の活動は、きびの会の方が長い歴史を持っていますが、さらなる研さんに努める必要を感じた一日でもありました。もう少し時間があれば、「居場所」の見学(サポーターの当番・役割を含め)もしてみたかったと若干心残りではあります。

美作創生事業として、ひきこもりケアサポーターをどう育成していくか、検討中の時期でもあり、タイムリーな研修設定であったと感じています。参加者の皆さん、お疲れ様でした。

(HT)

(「美作創生事業」応募のプレゼンは4月にあり、決定します)